



天城町立岡前小学校

公開研究会

令和7年1月28日（火）

本校の課題

- 指示や説明を待ち、学習に対して受け身の姿勢が見られる。
- 学び合いでは意見の発表に終わることが多く、よりよい考えを追究しようとする姿勢が弱い。
- 個別指導や特別な配慮を要する児童が約2割程度おり、個人差に応じた学習の展開が難しい。
- 自力解決、学び合い、習熟や振り返りなど、時間を割くべき要素が複数あり、授業を45分間で完結させるのが難しい。

I 課題解決の取組

【研究主題】

児童が自ら課題を捉え、学びに向かい続ける算数科学習の改善
～「個別最適な学び」と「協働的な学び」を実現する学習モデルの開発～

【仮説1】

学習内容の確実な理解や深化を目指した「個別最適な学び」を実現することで、児童が自らの学習を調整し、学びに向かい続けることができるのではないだろうか。

＜研究内容1＞

児童の実態や学習内容に応じた学習スタイルの工夫（「個別最適な学び」・「協働的な学び」の充実）

- (1) 予習型学習
- (2) 予習+マイプラン型学習
- (3) マイプラン型学習

学びに向かう力、人間性等
(見えない学力)

どのように社会・世界と関わり、よりよい人生を送るか

「確かな学力」「健やかな体」「豊かな心」
総合的に捉えて構造化

【仮説2】

一人一人の「個別」の学びを生かした「協働的な学び」を実現することで、児童が他者と考え方を組み合わせたり、よりよい学びを生み出そうとしたりし、学びに向かい続けることができるのではないだろうか。

＜研究内容2＞

学びを振り返る時間の設定（授業における習熟や振り返りの時間の確保）

- (1) 習熟の時間の設定
- (2) 学びの自覚や深化を図るための振り返り



これまで岡前小学校が行ってきた従来の授業（一斉指導）

学習過程	時間	めあて	見直し	自力解決	学び合い	まとめ	習熟	振り返り
授業時間	4分	3分	3分	7分	10分	5分	8分	5分

予習型

予習+マイプラン型

マイプラン型

！単位時間における学習過程の工夫

単元全体を通した学習過程の工夫

＜研究内容3＞

授業外の取組

- (1) 校時表の工夫や各種タイムの目的、内容の吟味
- (2) 家庭学習の取組
- (3) 学びの集団づくりを意図した各種取組

自ら課題を捉え、学びに向かい続ける児童の育成へ



II 公開研究会当日の様子

2年「はこの形」



4年「小数のかけ算とわり算」



6年「比例と反比例」



掲示物コーナー



研究協議



＜参加された先生方より＞

- 児童が多く選択肢から希望する方法を選択し、課題意識を持って学習に取り組んでいる姿に、「学習するとはこういうことなのだ」と感じました。
- 授業だけでなく、先生方の日頃の取組（掲示物、自学ノート）や授業事前準備等を通して、研修することができました。
- 児童が生き生きと45分間の授業に一生懸命課題に取り組む姿を見ることができて、鹿児島市より参加させていただいて大変良い研修となりました。これまでの授業を従来型と捉えて、新たな学習形態にチャレンジされ、さらに全学年でできるのではないかと挑戦される姿にとても刺激を受けました。毎時間の授業の進め方のスタンダード化には大変苦労されたと思います。しかし、そのスタンダード化が児童のやる気につながり、自主的に学習に取り組む姿に表れていたと思います。今後の私の生徒へのアプローチに繋がりたいと思います。また、中学校籍の私にとっては、学習意欲の高い児童の学びを連続させることをしなければならないと痛感いたしました。今後も岡前小学校の児童が意欲的に学び続けて、生き生きと生活できる大人になって、活躍できることを願っています。本日はありがとうございました。